

2020 年
9/5 (土)

三回上映。各回定員 30 名

① 10:00-12:00

② 13:00-15:00

③ 15:30-17:30

監督

穴戸大裕

生活創造空間にし

5 階食堂

道

華

みちくさ

この街で暮らす

参加無料

FAX にて要申込

各回定員：30 名

コロナウィルス感染対策のため、ソーシャルディスタンスに配慮した上映を行います。そのため、各回定員30名とさせていただきますので、裏面 FAX にて、事前申込をお願いいたします。申込は各回で先着順とし、定員に達し次第受付終了といたします。予めご了承ください。

【本上映会に関する問合せ】

生活創造空間にし研修委員【森

もり

ひろのぶ

博宣】

☎045-594-7681 (ねくさす)



瀧瀬あや(映画監督)

たったひとりの世界では、
自分は見えない。
道草をしながらふたりで
歩く散歩は、この世界とつな
がり、相手の瞳に自分を映し
出す時間。
こんな時間をすべての人が
持つことができれば、わたし
たちはもっともっと優しくな
れるだろう。

はみ出していく。 よし、はみ出していこう。

暮らしの場所を限られてきた人たちがいる。自閉症と重度の知的障害があり、自傷・他害といった行動障害がある人。世間との間に線を引かれ、囲いの内へと隔てられた。そんな世界の閉塞を、軽やかなステップが突き破る。東京の街角で、介護者付きのひとり暮らしを送る人たち。タンポポの綿毛をとばしブランコに揺られ、季節を闊歩する。介護者とのせめぎ合いはユーモラスで、時にシリアスだ。叫び、振り下ろされる拳に伝え難い思いがにじむ。関わることはしんどい。けど、関わりなくなることで私たちは縮む。だから人はまた、人に近づいていく。

ひとはさびし、ふたりで歩く。
雨は降る、陽は輝く。人は泣き笑う。

<知的障害者の暮らしとは？>

知的障害がある人の暮らしの場は広がってきていますが「重度」とされる人の多くは未だ入所施設や病院、親家で暮らしているのが実情です。

2014年に重度訪問介護制度の対象が拡大され、重度の知的・精神障害者もヘルパー付きのひとり暮らしが出来る可能性は大きく広がりました。

そんな中、16年夏には相模原障害者殺傷事件が起きました。この街で誰もがともにあるために、新しい選択肢を見つめてみませんか？



2018年/95分/16:9/カラー/日本

監督・撮影・編集：穴戸大裕 / 音楽：末森樹 永原元 / 音響構成・整音：米山靖 / 宣伝デザイン：林よしえ / 宣伝イラスト：木下ようすけ / 題字：岡部亮佑
特別協力：全国自立生活センター協議会 / 助成：公益財団法人 キリン福祉財団 / 企画・製作：映画「道草」製作委員会
お問合せ：映画「道草」上映委員会 Tel: 080-3457-8833 FAX: 087-883-6570 info@michikusa-movie.com http://michikusa-movie.com/

FAX番号：045-5 9 4 - 7 6 8 2

令和2年9月5日(土) ①10:00-12:00 ②13:00-15:00 ③15:30-17:30

生活創造空間にし研修 映画「道草」上映会 申し込みFAX用紙

お名前	
ご所属 連絡先	
ご希望時間 ※○印をお願いします	①10:00-12:00 ②13:00-15:00 ③15:30-17:30 ④どこでも可